学校通信　　学力特集号

向　学

北九州市立沖田中学校
校長：緒方　英一
H.28 年 12 月 1 日

校訓

健　康

身体・心
＝
心身の健康

〈学校教育目標〉

～すべての子どもを我が子どものように～

生徒一人ひとりが生き生きと輝き、心身ともに健康で、やさしさとたくましさと自立心を持ち、根気強くがんばる生徒の育成。

〈本年度の重点目標〉

「確かな学力」と「学校規律」の向上

平成２８年度　全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取り組みについて

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成２８年４月１９日（火）に、３年生を対象として、「教科（国語，数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

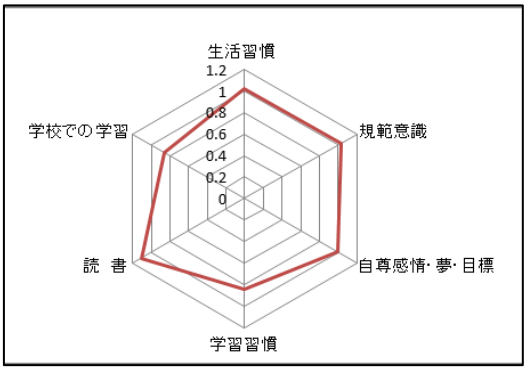
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

１．教科に関する調査結果の概要

カテゴリー	学力調査の分析（傾向や特徴）	全国平均正答率との比較
国語Ａ	・全体的には全国平均と同程度であるが、話す・聞く能力を問う問題に課題があり、グループ討議や発表などの取組が必要である。	同程度である
国語Ｂ	・文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを書く問題に課題がある。自ら課題を設定し、基礎的・基本的な知識・技能を活用し、他者と相互に思考を深めたり、まとめたりしながら解決するよう取り組む必要がある。	やや下回っている
数学Ａ	・全体的には全国平均と同程度であるが、関数領域における一次関数のグラフの特徴を読み取ったり、一次関数の関係を式に表したりする問題に課題がある。	同程度である
数学Ｂ	・関数領域の、条件を基に表から数量の変化や対応の特徴を捉えるような問題に課題がある。具体的な事象における 2 つの数量の変化や対応の特徴を表・式・グラフを用いて捉え、それらを相互に関連付けて考察するような活動を重視する必要がある。	やや下回っている

２．学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

・生活習慣や規範意識に関するアンケートでは肯定的な回答の割合が全国平均よりも上回っている。就寝・起床時間の安定や授業に臨む姿勢など落ち着いた生活を送れている生徒が多いことがわかる。

・学習習慣や学校での学習に関するアンケートでは全国平均を下回っている。宿題などの家庭学習や自分で計画を立てて学習をするような習慣をつける取組が必要である。

・学習において自分の考えを伝えることは苦手であったが、友達との関わりの中では、自分の意見を述べたり、最後まで話を聞いたりできる生徒の割合は高くなっている。「自分には、よいところがある」という割合も高く、自分の考えや行動に自信を持っている生徒が多いと思われる。

３．調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

・授業の終わりに「まとめ」カードや「ふりかえり」カードを活用し、本時の学習内容がより定着するよう工夫が必要である。
・自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動を場面に応じて適切に取り入れていく必要がある。
・グループ学習やペア学習などを取り入れ、授業形態の工夫から生徒に意欲を持たせる。

② 家庭生活習慣等に関する取組

・毎朝 8 時 30 分より「黙想タイム」を実施し、一日の目標を立てて、落ち着いた学校生活を送るよう指導する。
・生活ノートに付属してある各教科の課題を毎日担任が点検している。家庭での学習習慣を定着させるためにも未提出の生徒が増えないよう呼びかけながら継続的に取り組ませていく必要がある。